


部の概要			
所属課と人員 (H24.4.1現在)	児童課 子育て支援課	188人	
部の運営方針			
<p>国立市第二次こども総合計画に定めた施策を推進し、子育て・子育てのしやすい環境をつくり、子どもたちが心身ともに健やかに育っていけるよう、また保護者がいきいきと地域の中で子育てができるよう支援をおこなっていきます。</p> <p>平成24年度は、待機児解消を目指して私立保育所の創設や建て替えにより62名の定員増をおこないます。また、入所児の安全確保のため全保育所建物の耐震化を進めます。</p> <p>さらに、少子化による幼稚園の定員割れや認可保育所の定員増に伴う認証保育所の定員割れなどの課題に対して総合的な見地から対応策を検討していきます。</p>			
平成24年度の重点項目			
	項目	具体的内容	達成状況(年度末振り返り)
1	待機児童の解消	私立保育所の創設や建て替えを支援することにより、保育所の定員を増やし待機児童の解消を図ります。 平成24年4月1日現在 待機児童数44人(新定義) 平成25年4月1日目標 62人定員増(うち低年齢児50人)	平成25年4月1日現在の待機児童数は、新定義で32人となり、前年比約30%減となりました。また、定員増59人(うち低年齢児47人)でした。
2	保育所の耐震化	なかよし、東保育園の耐震工事を行うことにより国立市の構造耐震判定指標0.75を上回るようにするとともに、私立保育所の耐震化を支援します。	公立園である、なかよし保育園、東保育園については、それぞれ平成25年3月、平成24年10月に工事が完了いたしました。私立園では和光保育園が平成24年7月に完了し、国立あゆみ保育園が平成24年12月に着工いたしました。
3	プレーパークの常設化	現在のプレーパークは月1回だけの開催と毎月場所が変わることから、子どもたちの屋外の居場所としては定着していません。常設化の条件である場所の確保について検討をすすめます。	平成25年11月に城山地区に新たに設置される予定の公園・緑地において常設化を決定し、現在準備を進めております。
4	学童保育所の保育時間の延長及び育成料の適正化	保護者の要望の高い夕方及び学校休業日の保育時間の延長を実施するとともに、受益者負担の公平の考えから育成料の適正化を図ります。 平成24年7月実施目途	保育時間の延長については、平成24年7月より実施をいたしました。育成料の適正化については、平成24年10月より実施し、世帯の所得によって月額0～6500円に改正いたしました。
5	DV相談等体制の充実	DV相談等の対応については、慎重に対応する必要があることから、担当職員だけでなく、市職員全体がこの問題に対して理解を深めることが必要であるため、DV相談等の専門家による適切なDV対応の指導、研修を職員向けに行っていきます。	スーパーバイザーによる指導研修を4回実施し、職員研修を充実いたしました。